

保育用品研究會第一回狀況報告

——(手技材料の代用品と廢物利用について)——

みごり會幹事

日支事變も三度の春を迎へ、いよいよ長期建設の期に入りました。戦地の皇軍將士の御奮戦を想ひ銃後の護をいや深くする爲、

私共保母も何か御奉公をせねばならぬと考へまして、みごり會幹事がより／＼相談の末、消費節約、資源擁護を目標に手技材料の代用品、及び廢物利用を皆様で考へ持ちより研究する事を去る昭和十三年十月計畫致しました。そして會員の保母の職にある者は地方の方まで呼びかけまして良き御考案もがなと研究日の十一月二十八日を期待して居りました。此處に當手技材料研究會日の模様の大略を記して皆様方の御参考とし又、新しい御創案の糧とも致し度いと思ひます。

女高師附屬幼稚園の組の一筆にて倉橋先生、及川先生、菊池先生、小島先生、杉山先生の他在京會員約三十名が集りまして、持寄りの製作品を中央の机上に陳べ、なごやかな氣分の内に開會致しました。

先づ「この會の成立から出品者と審査員とが、同席、同人であるから、うつかり悪口を云へぬぞ」との、相變らずの倉橋先生の巧みな諧謔に大笑ひして、進行役になつていたとき、種々の御批評を

うかゞひつゝ、研究が進められて參つたのでありますから、どうぞその積りでお讀み下さいませ。

(第一)番町幼稚園出品の古紙利用の所謂新聞粘土紙粘土。

それでおいしそうに作られた握り壽司、チキンライスから始りました。之は計らずも芳林幼稚園から、一輪さしと壁掛、女高師附屬幼稚園の一先生からはお雛様が同じ原料でほど同じ製作過程を経ました物が出品されてありますので、一纏として取扱ひ個々の作品の特徵や長所、短所を話し合ひました。元來この古新聞紙利用は實驗なかつた方もな／＼多數ありますが、これ等のやうに幼児の手技材料として直接に使用し得た事は今までに餘り見なかつたやうなので、思はず研究に實が入りました。番町幼稚園の製作過程は、「まづお通知の藁半紙の残り、古新聞紙、廣告紙等を(新聞紙二十枚で四十人分の材料を得)子供に小さく千切らせ、バケツ等の容器に入れ、水に浸して一日―三日間放置します。次ぎにこの水を減らして、その中で紙を子供によく揉ませ、相當細くなつたらよく絞つて水氣をとります。別に鉄のりを煮て置く。分量は新聞紙でしたら二十枚に鉄のり一枚又は一枚半。之れを絞

つておいた紙と混ぜ合せて、手にのりのヌラ／＼した感觸が感ぜられない程度で然かも何となくぬらかな感じのする位の分量で糊は丁度よく、そこで子供の目的の物を粘土の様に製作いたしました。二日又五日位で完全に乾きましたら着色して出来上りと云ふ事になります。この出来上つた握り壽司やチキンライスはいかにも軽く落しても毀れず。又他の紙粘土のやり方は紙を煮なければならぬが水に浸すだけであるから、子供にも材料が出来るまでの操作をさせ得る事、又乾燥が早い事等が一同感心するところでありました。

芳林幼稚園の一輪ざしは、新聞紙と駄のりを混ぜ三十分程煮たものを空瓶にベタ／＼と着けて色をぬるとの事。壁かけに作つてありましたのは、新聞紙と駄のりと重曹を入れて、約一時間煮たもので、之は質が緻密でゴム粘土の様な柔い感じが出て居りましたが、乾燥するのが一ヶ月もかゝり型が變るとの事でありました。女高師のは前と同じ方法で、可愛い、玉子形のお雛様の十人揃ひで美しく採色してあります。倉橋先生の御批評に曰く、「今までもあつた材料ではあるが、之を子供自身が使つて遊ぶと云ふ事が新しい。粘土に代るものとして經濟的でもあるやうだから、大いに利用したが良いと思ふ。しかし未だ問題は殘されてゐる。例へば駄のりを入れるとか、昭和糊を入れるとか、又新聞紙の他畫用紙の切り屑その他種々の紙でも利用出来るか等、皆で研究して貰ひ度いとの事でありました。及川先生からも粘土と比較して粘土の様に幾度も使用出来ないし、又何時でも使へるわけにはい

かぬし、材料の保存が困難であるが、製作後毀れないのが何よりの長所であらうとのお話でありました。會員も色々とお話ひました。が番町のお壽しや母校のお雛様は皆々推賞する處でありました。

(第二)本郷第一幼稚園のオガクツ利用

之は桐のオガクツと生駄を混ぜ合せ粘土の様に使用したもので、丸い可愛い器が出来て居りました。感じが非常に柔かで、落してもわれずなか／＼良いとの評もありましたが、桐の木の細いオガクツを何處の園でもが直ぐ手に入れる事が困難ではないかと云ふので一般への利用價値は餘り望めないとの結論でありました。

(第三)番町幼稚園の玉子の穀利用

鶏卵の殻に初め着色して置き、畫用紙に、望む形に糊を付けその上に適當の大きさに割つた殻のをせ指先きで摩し潰しつゝ張り付けて、チュウリップと景色を表してありましたが、玉子の艶が出てイタリーのモザイクを想はせる製作でありますので、モザイク遊びとしよう、倉橋先生の御命名でありましたが、さて材料が玉子の殻ですから、玉子の殻があつた時にと云ふ事になります。が、この玉子ばかりがモザイク風の製作表現をするものでなく、他に毛絲の細く切つたもの、色紙の使ひ屑を刻んだもの、布切を刻んだもの、砂等が材料に利用出来、しかも現在使用してゐる園もあるとのお話が出て、それなら玉子に限らず屑物を利用出来るのであるから、なか／＼有望、大いに研究し又實行してみやうとの事になりました。

(第四)番町幼稚園の經木利用

菓子屋から甘い物を包んで来た經木を種々利用製作したものでありますが、經木の性質上子供の手を切る危険もあり、少々製作法が困難であると云ふ事で、點數なしの様子でありましたから、詳細を避けてこれだけに致して置きます。

(第五) 千葉幼稚園の廢物を使用した種々な手技

石鹼の空箱で椅子、化粧品空箱で鏡臺、包み紙の模様を美し、い所で紙の柿様と紙ぶとん、チョコレートの空箱で飛行機、等それこそ各々の家庭から日常に出る廢物を子供の遊びの中へ上手に當嵌めて利用したもので丹念な保姆でありますなら誰かが考へ又現在實行してゐらつしやる事でありませうが、其の當嵌めたお考へのお上手な事、又地方の會員であれだけ多數の方に募集致しましたのにこの圖だけが送つて下さいましたその御心盡しと御努力に皆々敬意を表した次第で御座います。

(第六) 麴町幼稚園の古本利用のメガホンと防毒面

子どもの繪雑誌の古くなりましたのへ、ポスターカラーで着色して作つたものでありました。畫用紙の節約として適當な方法である様に考へられますので、一同その利用法に御賛成の様子でありましたところ、母校の及川先生及他の一團から、古本でありましたも切抜いて遊んだり他に利用する事は、未だ廢物にならぬ本まで粗末に扱ふ傾向を子供に來す事があるから、之は幼稚園ではさせない方がよいのではないかとの論が出て参りました。其處で倉橋先生も力こぶを入れて、夫々の意見を聞いて下さいました。が、古本を廢物利用として手技製作をさせても、他の本を決して

粗末にしない様な良い躰けが出来ぬ間はともかく、幾分でも本を粗末にするやうな傾向を幼い頭に植ゑつける事は避けた方がよからふ、まづ使はぬ方がよいとの結論で御座いました。

その他本郷第一の方の持參の花を賣る時包んでくれる薄い紙利用の大根や、夜店で買はれた爪がき帖等は、研究會の爲の苦しませの御出品との事で、倉橋先生からも數々のお口の悪い御言葉でしたが、これとて皆の大笑の種としようない、和やかな心で夕刻まで賑かに熱心に話し續けられました。これがその日の大體で御座います。

集まつた者一同が全くの研究的態度で、それ々の製作品に就て、眞面目に考へたのでありますから、もつとく、いろくの考案品がよせられましたなら、きつと一層皆様の利益であつたでせうと存じ、出品の少かつたことが、心から残念で御座いました。

しかしこれとても、聖戰三年に及びながらも、私達の幼稚園までは、物資缺乏の嵐がそう甚しく襲ふて参りませぬ爲であると考へれば、全く皇國日本のお蔭と感謝しなければなりません、併し又一方、もつとくしつかり深く考へてよく研究せねばならぬこと、と思ひました。

他にお手紙で二通参りましたが、その中で、ポスターの紙を集めて畫用紙代用にする専や二又銀に代りにセロハンのこよりで結び玉を作つて使用する法等が、それ／＼いゝ参考になると存じました。